

# 舵輪

## 新「海王丸」富山新港へ入港

富山新港に係留されている帆船「海王丸」の二代目「海王丸」が一〇月十八日から二十三日まで富山新港北埠頭二号岸壁に入港しました。

今年、海王丸が富山で公開されて十周年を迎えたことから県が運輸省に対し、秋季国体期間中の寄港を要望し入港が実現しました。

入港当日、ボランティア希望者によりカッターで入港を歓迎する計画を立てましたが、強風と高波で出艇を断念しました。しかし富山商船高等専門学校の御好意で交通艇により海王丸の入港を歓迎しました。海王丸は午前十時過ぎに着岸し、引き続き岸壁上で入港歓迎式が行われました。新「海王丸」停泊期間中の夜間は新旧海王丸によるイルミネーションが行われ富山新港の夜を彩りました。

新「海王丸」が入港した後のイベント及びボランティア活動は次の通りです。

＊(新)は新「海王丸」での出来事  
(旧)は旧「海王丸」での出来事を示します。

十月二十日 船長とのふれあいトーク (新)

新湊小学校五年生児童三十四人が乗船し船内見学及び質問会が行われました。船長、乗組員は船内案内を行った後、児童の質問に答えたり、船や海の話を行うなどして海事思想の普及に努めました。

十月二十一日 セイルドリル (新)  
海王丸クラブパーティー

新「海王丸」のセイルドリルが行われました。三十六枚全ての帆を広げ、優美な「海の貴婦人」の姿を見せてくれました。この日、海王丸パークで開催された「海の貴婦人」の観光客も多数訪れ、展帆している海王丸に見入っていました。大勢の家族連れが海王丸をバックに記念写真を撮影するなどして埠頭は大いに賑わいました。

夜は海王丸クラブ(新「海王丸」元海研研修生によるクラブ)によるパーティーが行われ、新「海王丸」乗組員及び関係者との親交を深めました。

十月二十二日 一般公開 (新)  
総帆展帆 (旧)

さわやかな秋空の下、新「海王丸」の一般公開が行われ、多数の見学客が訪れ北埠頭を賑わせました。実習生が案内を行い、見学客の質問の対応や体験談を聞かせていました。

旧「海王丸」では総帆展帆が行われ海研まつりで賑わっている海王丸パークを盛り上げました。純白のセイルを広げ新「海王丸」とはまた違った「海の貴婦人」の姿を披露しました。今回の展帆に参加したボランティアの中で希望者には新「海王丸」の御好意により船内見学を行いました。見慣れた旧「海王丸」とは違う新「海王丸」の見学にボランティア見学者は満足そうでした。

十月二十三日 出港 (新)

天候は雨にも拘わらず埠頭では約二百名の人々が出港を見送りました。係留索を外した海王丸は午後二時頃練習船教育後援会が募った研修生十七名を含む実習生・乗組員計百五十三名を乗せて離岸しました。雨天のため、登しよう礼は実施されませんでした。代わりに登舷礼が行われました。「帽振れ」の号令に海王丸乗員は一斉に手を振り別れを惜んでいきました。陸で見送っている人々もそれに負けず手を振り、出港を見送りました。旧「海王丸」とすれ違う際、互いに国旗による敬礼を交わし汽笛を吹鳴し、新「海王丸」は次の寄港地、鹿児島県串木野港に向けて出港、富山をあとにしました。我がボランティアから次の方々がこの航海の研修生として出発しました。

牧野 実 さん  
水上 一雄 さん

乗組員・実習生・研修生の皆さんの御安航を祈ります。

## 新「海王丸」データ

進水	平成元年 三月七日
総トン数	2556 トン
全長	110 m
総帆数	36 枚
総帆面積	2760 m <sup>2</sup> (畳1672畳分)
マスト高	50 m
定員	177 名 (乗組員69名、実習生108名)

## 人事移動について

十月一日付で人事異動がありましたので紹介します。

どうも有り難うございました。

退任 鷗山 久 業務係長  
高橋 裕一 業務課技術員

## 退任・着任の挨拶

着任 宝珠山 輝生 業務係長  
月野木 浩司 業務課技術員

業務係長 鷗山 久

平成十一年四月一日、富山県に赴任し引越・搬入のさなか、娘を自転車に乗せ海王丸を見たとき、実習生当時のいろいろなことが頭の中をよぎった。当時、初代宮本船長の「雨や嵐の場合倒れるまでやり通す精神は、帆船の場合においてのみ自然によって鍛えられる」という言葉に感銘を受け、大本船長の「軟弱にあらざ」という言葉を実習生の合い言葉に、仮泊日の深夜は当直士官の目を盗んでコンパスブリッジで酒を飲み海王丸船歌や練習船の歌を斉唱、僚船日本丸には決して負けないぞという船内の異様な雰囲気、何も苦にならず楽しい日々を過ごしたとき...

「船に乗ろう」と自分の気持ちを決定づけてくれたのが海王丸でした。

私がここで任された仕事は、日本海側の皆さんへの海事思想の普及や青少年の錬成という大きな目標がありました。自己流に言えば、「この船で海へ出てみたい」という気持ちがかみ上げ胸一杯になる」というものを大切にしたいと考えていました。

ある日の海洋教室、マスト登りをしながら「海」の唄を歌っている子供たちの姿を遠くから見ると、なぜか涙が溢れそうになりました。

# 舵輪

立ち上げから今日まで必死に戦ってこられた先輩諸兄の努力の結晶を、ポランテア各位の惜しみない協力により、目標に向け一歩前進できたものと考えます。海王丸は公開一〇周年を迎え、今まで蓄積してきた力を外に発揮するときがやってきたものと感じます。多くの人に愛されてきたこの船、これからはもっと多くの人に身近に感じていただける船になつて欲しいと思います。この船を今後永く保存・維持していくのに金や手間がかかるのは当たり前で、誘致した以上は関係者全員、死にものぐるいで運営していく必要があるでしょう。

我が船ぞ海王丸。終わりにになりましたが、不慣れた土地で支障なく仕事が出来たのも、周囲が気持ちのいい方たちばかりで、自分の知らないところで支えていただいていたのだと考えます。ありがとうございます。そして、このまたとない機会を与えていただいた航海訓練所の関係各位、こころでついでにきてくれた家族二人に感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

業務課技術員 高橋 裕一

業務係長 宝珠山 輝生

「せば」

十月一日に着任しました宝珠山輝生（ほうしゅやま てるお）と申します。富山に来ていろいろ戸惑い、業務についても不慣れで思うように仕事が出来ませんが皆様と共に一生懸命に頑張つていきたいと思います。

新湊に係留している海王丸は私にとつて思いが深いものがあります。この海王丸が現役時代は私はまだ高校生でした。高校2年の時、兵庫県の姫路港に海王丸が入港しました。その時初めて大型帆船の迫力、及びその美しさに心打たれました。「このような船で果てしない海を航海したい、知らない世界を旅したい。」それが当時の私の夢でした。その思いで商船大学に入学しました。しかしその年の平成元年、海王丸は現役を引退、新「海

王丸」がその役目を引き継ぐことになりました。私を海に誘った帆船が引退するというその知らせは非常に残念でした。その後大学を卒業し、新「海王丸」で実習を終え航海訓練所に入所しました。練習船に乗って数年が去り、旧「海王丸」のことも忘れかけた頃、今回の異動で旧「海王丸」と再会することになりました。私を海へ誘った海王丸の元で仕事ができる。とてもうれしいことでした。

業務課技術員 月野木 浩司

一〇月一日に着任しました月野木です。前任者同様、宜しく願います。

## 「海王丸」の主なイベント

- 十月五日・六日 海洋教室（作道小学校）
- 十月七日・八日 ボランティア新規養成訓練
- 十月十三日・十四日 海洋教室（佐加野児童クラブ）
- 十月十五日 総帆展帆（通算九十五回目）
- 十月十八日～二十三日 新海王丸寄港
- 十月二十二日 総帆展帆（通算九十六回目）
- 十月二十八日・二十九日 主催海洋洋室

## 係から

### 新ボランティア紹介

宜しく願います。

山田 増江	さん
ピータ ピューリンズ	さん
吉田 邦彰	さん
大木 愛子	さん
谷川 勇	さん
宝田 昭信	さん

### 十一月の予定

十一月五日	総帆展帆（通算97回目） （昼休み時間・運動会・ネプチューンヤード予定）
十一月六日	アンペンディングセール
十一月七日	アンペンディングセール
十一月六日～三十日	休館

### アンペンディングセールについて

休館期間に船体整備及び塗装が行われます。その事前準備としてヤード及びステイに付いているセールを取り外す作業があります。この作業のことをアンペンディングセールと言います。大きなセールがどのように下ろされるのか、セールがどのように取り付けられているのか、セール及びロープはどのように点検するのか、船のどこにセールを納めているのかを確かめに来ませんか。海王丸の作業を一つでも多く学び次の展帆に生かしましょう。皆様の参加をお待ちしています。

日時 十一月六日（月）・七日（火）  
両日0800受付（事務所前）  
0830ミーティング  
0900作業開始  
（天候事情により変更の可能性有り。小雨決行。）

参加の是非につきましては返信用葉書を同封しますのでお手数ですが参加・不参加欄に をつけて返送してください。十

## 展帆等「夕」

一月二日迄に返送をお願いします。

日時	名称	気象	参加人数	ヤード等	その他
十月七日（土）・八日（日）	ポランテア新規養成訓練	晴	二名		
十月十五日（日）	総帆展帆	曇	七十七名	ポートタックシャープアップ	
十月二十二日（日）	総帆展帆	晴	八十七名	スターボードタックシャープアップ	海王丸パークにて海鮮まつり開催

## あとがき

紅葉が美しくなると共に寒さも増してきました。皆様もお体には十分注意してください。十一月月上旬から海王丸は休館となりアンペンディングセール、船体整備を行う時期となります。海王丸がここ富山新港に係留されて十年となりました。しかし今までの船体整備で海王丸はその衰えを見せていません。本当に美しい船だと思います。船が美しくても元気が無ければ寂しいものです。その活気となるのはボランティアの皆さんのイベントの参加であり、協力であり、元気であると思います。皆様の力で海王丸を美しく元気な帆船にしてください。そのためには皆様、健康には十分注意してください。

# 舵輪

出会いと交流が、多くの人に海への口マンを与え、海を思いやる芽を育ててきました。

又、海王丸パークは、県世論調査では公共施設の中で、六年連続で利用率が一位にランクされるなど、港と海の賑わい空間として、子供から大人まで広く親しまれる県内有数の観光スポットとして定着してきました。

この海王丸パークでのメインイベント、最大の見所は、何と言っても現役時の勇姿を再現してみせる総帆展帆にあります。例えば、今から十年前、平成二年四月二十八日に、富山新港の北埠頭において快晴の下、立山連山を仰ぎ、総勢一七〇名のボランティアの手によって華々しく、総帆展帆が開始されました。

それから、今日まで総帆展帆は回を重ねること、九十五回、参加したボランティアは七九八名にのぼり、帆船海王丸には、随分と多くのボランティアの皆さんの功績が新たに刻まれ、それが海王丸の魅力を引き立ててきました。

雄大な雄山、剣岳の立山連峰を背景に、見事に二十九枚の白帆を張ってみせる技は、一幅の名画を見る思いで、見る者に勇気と活力を与え、このときほど、ボランティアの底力を実感するときはありません。

このボランティア活動も本年度から帆船海王丸を愛する皆さんの意向にそって、展帆だけでなく、見学者の案内案など、いろんな分野で、海王丸を支えていくこ

とができるように活動の輪が広がることになりました。

私は、当財団においてボランティアの皆さんの意気込みをしつかりと受けとめて、帆船海王丸の事業のいろんな分野に参加できる場を提供していくことにより、ボランティア活動の魅力が一段と高まり、海王丸の魅力もいろんな角度から引き出され、利用活性化につながっていくものと考えております。

そして、このことが、ボランティア活動を通して、一般の見学者との交流が芽生え、そこから海王丸を愛する仲間の輪が広がり、地域全体に海王丸を愛する気運が醸成されていくものと思います。

今日、物質がもたらした「豊かさ」に限界が見え始めたと言われています。

目前に迫った二十一世紀は、これまでのハード中心の視点に立ったシビル・ミニマムの時代に終わりをづけ、自分たちのまわりの資源を知恵を絞って活かして、心の豊かさや生きがいを求めていこうというソフト化の時代の到来です。

豊かな海をふるさとに持つ富山、そこに住む私たちには、まわりの海、港湾、そして帆船海王丸といった地域に誇れる資源や財産を舞台にして、県内外に発信できるものがいっぱいあります。

財団では、昨年度から、皆さんのボランティア活動の魅力づけや、小学校との連携による海洋教室の充実、さらには移動海洋教室の新たな取り組みなど、新しい方向を出しながら進めているところであります。

来春には、海王丸パーク周辺は、客船パークや海竜マリンパークのメインとなる新湊公共マリナーが供用開始となり、魅力ある事業が展開できる環境が整ってきました。

財団では、来年度から新しい試みとして、これらの海事公共施設の活用を視野に入れて、富山商船高等専門学校の校外授業の一環としての海王丸の活用

湾内クルーズ等航海体験を組み合わせた海洋教室や海洋講座の充実

などについて、関係機関との連携の下に進めることとしており可能な限り、知恵を絞って、心の豊かさや活力、夢と口マンを与える事のできるベイエリアにして

いきたいとの思いであります。

そして、多くの人たちに海の素晴らしさや尊さを伝え、海との関わりを考える機会を提供し、次代を担う子供たちには、海のような大きく広い心としつかりした夢をもった若者に育って欲しいと願いなから、私たち職員一同は、ボランティアの皆さんとともに、積極進取に取り組んでいきたいと考えております。

さて、いよいよ富山での秋季国民体育大会の開催期間中の十月十八日には、帆船海王丸の公開十周年を祝って、運輸省航海訓練所の練習帆船海王丸が三ヶ月にわたる北米への遠洋航海を終えて、国際帆船レースでの優勝など、航海中の数々のお土産をのせて、富山新港に入港して参ります。

現在、財団では関係機関と一体となつて、練習帆船海王丸の入港を暖かく迎える準備を進めているところであります。二十三日までの六日間の滞在期間中には、親子揃っての海王丸の一般公開や総帆展帆などの記念行事を開催して、県内外の多くの方々に感動を与え、海に親しみをもってもらう機会を提供していきたいと考えています。

ボランティアの皆さんにも、帆船海王丸の総帆展帆を通して、御支援をいただきたいと思っております。

そして、これからも、帆船海王丸がきらりと光る魅力づくりのための、妙案や素晴らしい着想、アイデアがあれば財団の方にどしどし進言していただきたいと思います。

# K A I W O M A R U

# 舵輪

## 特別寄稿

「帆船海王丸 これからの一〇年に思う」  
新湊市港湾課長 宮田 雅人

海王丸ボランティアの皆さん、八月六日の総帆展帆にご尽力され大変お疲れさまでした。夏の入道雲をバックに、海王丸のりりしい姿が今も脳裏から離れませんが、真つ白き帆が一段と映える悠々しさはまさに海の王者と叫びたい感じがした。海の貴婦人に対して「王者」という表現はあまりふさわしくないかもしれませんが、ね。こんな光景に出会えるのも、皆さんのおかげなんだと心から感謝した次第です。

この日はまた、海洋講座が開かれ、元帆船海王丸記念財団常務理事の勝山さんの講演を聴く機会に恵まれ、帆船海王丸が日本海側で初めて係留されたからの苦悩の歴史を耳にすることができました。勝山氏の体験談に基づくユーモアを交えての話は、聞くものに説得力をもたせて迫ってきました。ちよっぴり自慢話もありましたけど、先輩諸兄の語り尽くせない苦労があったからこそ、今日があるのだという痛感しました。

さて、これまでの十年は、ボランティアの皆さんに支えられてきたといつても過言ではありません。これからの十年も皆さんに頼るところ大であると思われませんが、先の投稿でも記しましたけど、ボランティアで帆船の展帆をしているのは、世界にも例がなく、横浜と新湊だけだそう、これこそまちおこしの原点であり、「交流がめばえる海洋文化都市」を目指す新湊市にふさわしいものと言えます。皆さんの海王丸への「愛着」がますます膨らむことを願うとともに、地元新湊市の「奮起」を期待するものです。

ところで、このほど、新湊市の国際交流員として就任したピーターピュリンズ君が帆船海王丸のボランティアに参加したいと希望しておられます。素晴らしいことですね。その節は先輩ボランティアとして、快く迎えてあげてください。第二、第三のピーター君が現れてくれることを祈っています。(次項へつづく)

近年、まちおこし、まちづくりをどのように展開するかが多方面から問われており、このことの追求こそ地方間競争に打ち勝つキーポイントであると思えます。これをそこに住む人や集う人々が自分たちの課題として捉えていくことが重要であると思うのです。

これからの十年は、右肩上がりの経済成長が望めないと言われる中、現在ある施設をいかに活用するかの視点をもつことが必要と考えます。あれこれ新しい施設を要望していくのもいいですが、せつかくある施設をいかにしたら有効に活用できるか知恵を絞るべきであり、そうした中で、今後、どんな施設が必要かを考えていけばよいのではないのでしょうか。

帆船海王丸にしても、ボランティアの皆さんをはじめ新湊市や訪れる人々の「共通の貴重な財産」として大切に保存し、有効活用し知恵を絞っていききたいものです。これからの十年、意識を変え発想の転換を図って、帆船海王丸を見守り生かしていきましょう。

## 海王丸乗組員体験記

業務課技術員 高橋 裕一

今から十二、三年前、私をはじめこの海王丸に乗船したばかりのことである。海王丸は塩釜から小樽へ向かって航行中、私は夜の20時頃の船橋当直中でした。たまたまそのとき津軽海峡を東から西へ横断する時間に出くわし、懐かしさと久々に見る函館の夜景に、心からひたろうと思いつき船橋当直に向かおうと、ドアを開けたとたん西風の強さに、ただ驚きメルヘンな気持ちなど一瞬のうちになくなり当直に入ったのでした。

そして、四時間が過ぎても西風がおさまらず、次直と交代、そして朝8時の直の時間、船橋に入りチャートで位置を確認するや本船はまだ津軽海峡を抜けていないのです。チャートは位置を入れた後で真っ黒、今どこに本船がいるのか一目ではわからないほどです。ちなみに津軽海峡で西からの強風が吹くことは、特に珍しいこと

ではありません。私は十年もの間、青函連絡船で函館から青森を数えきれないほど行き来してあり、冬は大変だったことを思い出しますが、このときは四月だったので、今でも記憶に残っているのでしょうか？

北の海にはちよっとうるさいと思ってる ミズンマスト 高橋 裕一

## 係から

ボランティア研修再び開始

展帆ボランティアの技術向上を図り、船や海に対しより一層理解いただき、また今後新たに協力をいただく事業に向けてその養成を行うべく、去る八月二六日・二七日、標記宿泊研修を開催しました。突然の開催予告のため、都合がつかない方が多くいらしたかと思いますが、三七名の参加者がありました。企画、準備の頃は不安の毎日でしたが、参加者や関係者の力で何とか成功に終わったものと考えます。九月一五日の日帰り研修は当日の欠席者がややあったものの二五名の参加者がありました。残念ながら参加できなかった方へは、当日講師さんが撮影したビデオを、総帆展帆反省会等にて紹介する予定です。

今後も計画していく考えですが、特に登壇礼の練習には多くの方に参加いただきたく、その節は奮って申し込み下さい。

運輸省練習船海王丸の寄港

- ・行事予定
  - 一〇月一八日(水)一〇時〇〇分 入港
  - 二二日(土)セイルドリル (富山新港北埠頭)
  - 二三日(日)一般公開
  - 二三日(月)一四時〇〇分 出港
- 新海王丸入港時のカッターでの歓迎について

・新海王丸入港の際、富山商船高等専門学校のカッターをお借りして展帆ボランティアで出艇し、盛大に歓迎したいと思

います。日程は次のとおりです。

- 日時 一〇月(水)日
  - 〇八時三〇分 集合
  - 〇九時〇〇分 出艇
- 集合場所 日本海交流センター入口

(総帆展帆日受付するところですが)なお、事前にとつづ練習を行いたいと思いますので入港当日参加希望の方は是非、ご出席ください。

- 練習日時 一〇月九日
  - 〇九時〇〇分～一三時三〇分 集合
  - 〇九時〇〇分 出艇
- 集合場所 日本海交流センター入り口

\* 商船高専臨海実習場付近に駐車場がありませんので、自家用車での直接の乗り入れはできません。

帆船日本丸総帆展帆への参加

横浜市所有である帆船日本丸の総帆展帆に海王丸展帆ボランティアが参加を希望した場合、先方の訓練を受講する必要があります。参加できるよう、了解を得ているところですが、現在は次のような手続き等を踏まえて参加いただいているのでお知らせします。

係(海王丸財団業務係長)を通して遅くとも一週間前には申込み願う。これ以外の場合には、昼食等の手配はできない。昼食については、展帆量帆の両作業に参加した者に限り提供される。

先方周辺事情の変化により、マイカーで乗り付ける場合は財団経営の有料駐車場等を利用する。特別に確保していただくことは、北海道等遠方から参加している者と公平な扱いをする上で困難である。

## お申し込み

来る十月十八日(二十三日)までの間、運輸省練習船海王丸が、伏木富山港新湊地区に寄港します。これは、富山県と財団が富山新港での帆船海王丸公開十周年記念として二〇〇〇年富山国体秋季大会

# 舵輪

開催に花を添えるために寄港を要請した  
ものです。  
この記念すべき日に、帆船海王丸クラ  
ブ(海王丸研修生OBの会)では「帆船海  
王丸クラブ伏木富山港の集い」を下記に  
より開催することになりました。これは本  
来、新海王丸職員とクラブ会員との交流  
との場として開催されていきますが、せつ  
かくの機会ですので、参加を希望される  
展帆ボランティアの方は奮ってお申し込  
みください。

記

日時 平成十二年十月二十日(日)

一七時〇〇分～一八時三〇分

場所 海王丸パーク緑のパーゴラ

(中央)

費用 五、〇〇〇円

申込先 武田 信幸

(集い幹事、海王丸クラブ会員)

一八時以降電話またはファッ

クスにてお願いします。

TEL&FAX 0761-73-3115

す。カッターでの歓迎等予定しています。

## 着任の挨拶

業務係長

寶珠山

輝生

## 新ボランティア誕生

去る一〇月一五日の総帆展帆をもって、  
新たに、名の展帆ボランティアが誕生し  
たので紹介します。

(敬称略)

## 海王丸乗組員体験記

「初めての遠航」

業務技師

阿部

公雄

今、

## ボランティア通信

## カヌーの甲羅甲

## SPICING THE MAIN BRACE

業務課技術員

月野木

浩二

# K A I W O M A R U

**舵輪**

**K A I W O   M A R U**